



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月11日

上場会社名 株式会社ウィッツ 上場取引所 東
コード番号 4440 URL <https://www.witz-inc.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）服部 博行
問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）尾関 和磨 TEL 052-957-3331
半期報告書提出予定日 2025年4月11日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切り捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	2,338	57.2	306	145.3	323	134.3	225	162.3
2024年8月期中間期	1,487	16.5	124	△21.8	138	△23.0	85	△32.0

（注）包括利益 2025年8月期中間期 220百万円（146.0％） 2024年8月期中間期 89百万円（△29.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	56.61	56.60
2024年8月期中間期	21.05	21.03

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	3,688	2,629	71.1
2024年8月期	3,563	2,479	68.8

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 2,624百万円 2024年8月期 2,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	-	0.00	-	14.00	14.00
2025年8月期	-	0.00			
2025年8月期（予想）			-	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	17.9	337	19.6	350	0.7	234	△14.9	58.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料７ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年8月期中間期	4,176,000株	2024年8月期	4,176,000株
2025年8月期中間期	189,979株	2024年8月期	185,164株
2025年8月期中間期	3,980,414株	2024年8月期中間期	4,081,311株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しの影響などを受け、緩やかに回復いたしました。一方で、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響が見られ、引き続き先行きには十分に注意する必要があります。

当社グループを取り巻く環境においては、引き続き開発依頼は高い需要を維持しております。主力であります組込みソフトウェアをはじめ、シミュレータ・仮想空間技術、セキュリティ及びセーフティの技術分野で自動車及び産業機器向けの売上が好調に推移しました。さらに、前第2四半期連結会計期間において株式会社イーガーを、前第3四半期連結会計期間においてテスコ株式会社（以下、テスコ社という。）を新たに連結子会社とした影響もあり、売上高は前年同期比増収となりました。

営業利益においては、人件費の引き上げや外注費の増加に加え、子会社の増加、事業の拡大・推進・強化等を目的とした人員の増強や拠点の整備等により売上原価及び販管費が増加したものの、売上高の増収及び受注価額の見直し等による売上総利益率の上昇が牽引し、コスト増を上回る売上総利益の増加となった結果、前年同期比増益となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益においては、Go-Tech事業（成長型中小企業等研究開発支援事業）に係る補助金収入及び保険事務手数料が減少したものの、営業利益の増加に加え、保険解約返戻金が増加した結果、前年同期比増益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,338,390千円（前年同期比57.2%増）、営業利益306,150千円（同145.3%増）、経常利益323,805千円（同134.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益225,344千円（同162.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。また、「センシング事業」は、前第3四半期連結会計期間より新たに報告セグメントとして追加したため、前年同期額、増減額及び前年同期比（%）は記載しておりません。

1. ソフトウェア事業

当セグメントにおいては、自動車や産業機器向けの制御ソフトウェアの受託・エンジニアの派遣等を軸とし、これらのソフトウェア開発におけるセキュリティやセーフティコンサルティング、AI（人工知能）を自律化システム等に安全に搭載するためのAIセーフティコンサルティング、ロボットや自動走行車開発等におけるシミュレーション及びモデルベース開発技術の提案・開発・提供、これらの技術に関するノウハウを商材化した製品及びサービスの提供などを行っております。なお、当社及びテスコ社以外の連結子会社は、当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、主力であります組込みソフトウェアをはじめ、シミュレータ・仮想空間技術、セキュリティ及びセーフティの技術分野で自動車及び産業機器向けの売上が好調に推移したため、売上高及びセグメント利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は1,943,692千円（前年同期比30.7%増）、セグメント利益（営業利益）は276,155千円（同147.8%増）となりました。

2. センシング事業

当セグメントにおいては、X線透過・CT装置の製造・販売・保守などを行っており、事業の特性上9月及び3月付近に売上が集中し利益貢献する傾向にあります。なお、連結子会社であるテスコ社は当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、大型案件に関して、客先との納期調整等があったものの、X線透過・CT装置の販売が好調に推移したため、売上総利益が販管費を上回り、セグメント利益となりました。

この結果、売上高は394,698千円、セグメント利益（営業利益）は16,487千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、2,533,880千円（前期末比1.8%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金1,601,290千円（同9.6%減）、受取手形、売掛金及び契約資産536,526千円（同43.4%増）、仕掛品203,744千円（同51.6%増）であります。

固定資産は、1,154,861千円（前期末比7.5%増）となりました。主な内訳は、投資有価証券295,760千円（同50.3%増）、のれん212,589千円（同5.8%減）、保険積立金118,628千円（同3.8%減）、有形固定資産92,255千円（同6.7%減）であります。

この結果、当中間連結会計期間末における総資産は、3,688,742千円（同3.5%増）となりました。

（負債）

流動負債は、778,660千円（前期末比2.1%増）となりました。主な内訳は、買掛金193,116千円（同160.7%増）、賞与引当金162,718千円（同10.5%減）、未払法人税等113,926千円（同13.2%減）であります。

固定負債は、280,845千円（前期末比12.8%減）となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債211,527千円（同3.9%増）、長期未払金65,332千円（同43.3%減）であります。

この結果、当中間連結会計期間末における負債合計は、1,059,506千円（同2.3%減）となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、2,629,236千円（前期末比6.0%増）となりました。主な内訳は、資本金612,524千円（前期末同額）、資本剰余金557,940千円（前期末比1.1%増）、利益剰余金1,621,891千円（同11.7%増）であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2024年10月11日に公表いたしました予想からの変更はありません。なお、当該連結業績予想及び配当予想の数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,772,064	1,601,290
受取手形、売掛金及び契約資産	374,220	536,526
商品及び製品	423	72,377
仕掛品	134,408	203,744
原材料及び貯蔵品	12,877	2,329
その他	195,168	117,613
流動資産合計	2,489,162	2,533,880
固定資産		
有形固定資産	98,855	92,255
無形固定資産		
のれん	225,597	212,589
その他	83,624	99,233
無形固定資産合計	309,221	311,822
投資その他の資産		
投資有価証券	196,730	295,760
保険積立金	123,294	118,628
その他	346,412	336,393
投資その他の資産合計	666,437	750,783
固定資産合計	1,074,514	1,154,861
資産合計	3,563,676	3,688,742
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,078	193,116
未払法人税等	131,292	113,926
賞与引当金	181,745	162,718
製品保証引当金	—	3,418
資産除去債務	15,870	—
その他	359,440	305,480
流動負債合計	762,428	778,660
固定負債		
退職給付に係る負債	203,549	211,527
役員退職慰労引当金	706	1,553
長期未払金	115,324	65,332
その他	2,409	2,431
固定負債合計	321,989	280,845
負債合計	1,084,417	1,059,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	612,524	612,524
資本剰余金	551,971	557,940
利益剰余金	1,452,418	1,621,891
自己株式	△162,739	△164,691
株主資本合計	2,454,174	2,627,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,269	△3,303
その他の包括利益累計額合計	△2,269	△3,303
非支配株主持分	27,354	4,876
純資産合計	2,479,259	2,629,236
負債純資産合計	3,563,676	3,688,742

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	1,487,572	2,338,390
売上原価	982,598	1,470,262
売上総利益	504,973	868,127
販売費及び一般管理費	380,148	561,977
営業利益	124,824	306,150
営業外収益		
補助金収入	9,904	9,063
助成金収入	18	48
保険解約返戻金	875	4,985
保険事務手数料	484	83
受取手数料	26	903
その他	3,412	2,837
営業外収益合計	14,722	17,921
営業外費用		
自己株式取得費用	132	261
支払利息	1,093	—
その他	94	6
営業外費用合計	1,321	267
経常利益	138,225	323,805
特別損失		
固定資産除却損	—	421
特別損失合計	—	421
税金等調整前中間純利益	138,225	323,383
法人税等	48,509	102,138
中間純利益	89,716	221,244
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失（△）	3,799	△4,100
親会社株主に帰属する中間純利益	85,917	225,344

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益	89,716	221,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194	△1,034
その他の包括利益合計	△194	△1,034
中間包括利益	89,522	220,210
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	85,722	224,310
非支配株主に係る中間包括利益	3,799	△4,100

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）	当中間連結会計期間 （自 2024年9月1日 至 2025年2月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	138,225	323,383
減価償却費	15,389	27,494
のれん償却額	6,961	13,008
その他の償却額	6,201	4,976
賞与引当金の増減額（△は減少）	△11,012	△19,027
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△10	3,418
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	—	847
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	9,470	7,977
保険解約返戻金	△869	△4,985
固定資産除却損	—	421
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△65,146	△162,305
長期未払金の増減額（△は減少）	—	△49,991
棚卸資産の増減額（△は増加）	△5,886	△130,742
仕入債務の増減額（△は減少）	11,471	119,021
その他	△45,015	△63,294
小計	59,779	70,202
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△20,836	△116,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,942	△46,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,957	△9,472
無形固定資産の取得による支出	△26,654	△31,315
差入保証金の差入による支出	△83,184	△7,672
差入保証金の回収による収入	794	10,298
保険積立金の積立による支出	△9,311	△1,645
保険積立金の解約による収入	4,993	12,375
資産除去債務の履行による支出	—	△15,870
投資有価証券の取得による支出	△100,000	△100,663
定期預金の純増減額（△は増加）	119,629	—
長期前払費用の取得による支出	△2,646	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	38,152	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,185	△143,964
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△138,760	—
配当金の支払額	△32,632	△55,769
非支配株主への配当金の支払額	△410	△369
非支配株主からの払込みによる収入	9,000	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	3,000
自己株式の取得による支出	△13,566	△27,290
自己株式の処分による収入	770	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,599	△80,428
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△197,842	△270,773
現金及び現金同等物の期首残高	1,318,611	1,572,064
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,120,768	1,301,290

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2023年9月1日 至 2024年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	中間連結財務 諸表計上額
	ソフトウェア 事業	センシング 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,487,572	—	1,487,572	1,487,572	—	1,487,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,487,572	—	1,487,572	1,487,572	—	1,487,572
セグメント利益(注) 1	111,437	—	111,437	111,437	13,387	124,824

(注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソフトウェア事業」セグメントにおいて、当中間連結会計期間にイーガー社の全株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は74,552千円であります。

II 当中間連結会計期間（自 2024年9月1日 至 2025年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	中間連結財務 諸表計上額
	ソフトウェア 事業	センシング 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,943,692	394,698	2,338,390	2,338,390	—	2,338,390
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,943,692	394,698	2,338,390	2,338,390	—	2,338,390
セグメント利益(注) 1	276,155	16,487	292,642	292,642	13,507	306,150

(注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

従来、当社グループの報告セグメントは、「ソフトウェア開発事業」「サービスデザイン事業」「センシング事業」の3区分としておりましたが、「ソフトウェア開発事業」「サービスデザイン事業」及び「その他」で保有する技術を融合させ、SDV (Software Defined Vehicle) における技術育成を行い、SDVの発展に寄与するとともに、新たな価値創造に向けた取り組みを加速させることを目的とし、2024年9月

1日付で組織管理体制の見直しを行ったことに伴い、マネジメント・アプローチの観点から、当中間連結会計期間より「ソフトウェア開発事業」「サービスデザイン事業」及び「その他」を「ソフトウェア事業」として1つの報告セグメントに統合し、「ソフトウェア事業」「センシング事業」の2区分に変更することといたしました。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。